

《2019 年度社会貢献事業》

(1) 公開講座の実施

1976 年に開講した土曜教養講座は、2019 年度で 43 年目を迎えました。本講座は、時宜に適した多彩なテーマを扱った一般公開講座で、地域社会における実践的研究、教育、研究活動などの成果を、大学を媒体として地域社会に拡大発展させることを目的としています。また、2019 年度も前年度に引き続き子どもの貧困をテーマにしたり、学科の特色を出した講座、包括連携協力協定を締結している中小企業家同友会との企画等、多様な公開講座を開催しました。さらに本講座以外にも、(株)セブン-イレブン・沖縄との共同主催で「売場の科学」(全 6 回)を開催しました。

土曜教養講座等開催一覧 開催回数：9 回

開催日	タイトル	参加人数
7 月 13 日	第 562 回土曜教養講座 食は沖縄を救う ～沖縄大学管理栄養学科に期待すること～ 【講師】糸数公（沖縄県保健医療部保険衛生統括監） 比嘉京子（沖縄県議会議員）	98 人
8 月 10 日	第 563 回土曜教養講座 地域の持続的発展を考える「子どもの貧困」問題への企業アプローチ 【講師】島袋純（琉球大学教育学部教授） 横江崇（NPO 法人子どもシェルターおきなわ理事長 弁護士） 星崎浩二（office 星崎代表、） 野添かおり（沖縄子育て良品株式会社） 宮城光秀（有限会社大宮工機）	83 人
9 月 28 日	第 564 回土曜教養講座 沖縄と自然災害 【講師】稲垣暁（災害ソーシャルワーカー） 岩垣真人（沖縄大学法経学部准教授） 河合壘（岩手大学人文社会学部准教授）	32 人
10 月 26 日	第 565 回土曜教養講座 プラットフォーム・エコノミーと労働の未来 【講師】山田省三（弁護士 中央大学名誉教授） 矢島秀和（沖縄大学法経学部准教授） 毛塚勝利（労働問題研究家）	11 人
11 月 9 日	第 566 回土曜教養講座 次世代教育について語り合う part3	15 人

	～子どもたちの生きづらさにいかに寄り添うか～ 【講師】ディリープ・チャンドララール（沖縄大学名誉教授） 鳥光宏（駿台予備校講師） 大城喜江子（一般社団法人まちづくりうらそえ代表理事） A.G.ガーミニ（スリランカ公立学校の教頭） スメダ ナワラトナ（スリランカジャーナリスト カウンセラー）	
12 月 21 日	第 567 回土曜教養講座 琉球列島の希少種保全 【講師】荒谷邦雄（九州大学大学院比較社会文化研究院教授） 城ヶ原貴通（沖縄大学法経学部准教授） 越本知大（宮崎大学フロンティア科学実験総合センター教授） 長嶺隆（NPO 法人どうぶつたちの病院沖縄理事長） 尾崎清明（山階鳥類研究所副所長 日本鳥学会会長）	74 人
1 月 25 日	第 568 回土曜教養講座 ひきこもった子どもと親たち ひきこもりだった子とその母親が本音で語る 【講師】谷口仁史（認定 NPO（特定非営利活動）法人 スチューデント・サポート・フェイス代表理事） 松本大進（沖縄県子ども・若者みらい相談プラザ sorae 主任支援員 臨床心理士） 崎原旦陽（臨床心理士） 崎原盛子	127 人
2 月 15 日	第 569 回土曜教養講座 社会から隔離された少年たち どんな状況にあっても立ち直りができる社会とするために 【講師】小山定明（法務省矯正局 少年矯正課長） 工藤啓（認定 NPO 法人 育て上げネット理事長） 打越正行（特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所・研究員）	94 人
3 月 21 日	第 570 回土曜教養講座 ※新型コロナ感染拡大予防の為に中止 「公」「共」「私」が協働する貧困のない社会の実現に向けて 【講師】渡辺寛人（NPO 法人 POSSE 事務局長） 湯浅誠（社会活動家 東京大学先端科学技術センター特任教授）	中止

「売場の科学」開催一覧

講師：渡辺 隆之（沖縄大学客員教授、東京未来大学教授） 開催回数：6回

	開催日	テーマ	参加人数
1	5月24日	見られない売場からは絶対に売れない！	51人
2	6月28日	客数を増やす？それとも客単価を増やす？	20人
3	7月26日	買いやすい売場は当然！今こそ面白い売場を！	28人
4	8月23日	徹底的に「お買得！」を追及しよう！	56人
5	9月27日	買いたくなる情報提供の極意！	34人
6	10月25日	「買いたい！」というモチベーションの高め方	34人

（2）「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」（小学生・中学生・高校生向け講座） 開催回数：35回

	開催日	実施校	講座名	担当講師	
1	4/18	名護商工高等学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
2	5/10	野津田高等学校（東京）	沖縄の地域福祉について	上地 武昭	（福）
3	5/17	陽明高等学校	中国の野菜と沖縄の野菜についての比較	王 志英	（国）
4	6/13	知念高等学校	平和学習(LGBTについて)	仲地 博	前学長
5	6/25	宮古島市立狩俣小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
6	6/25	宮古島市立北小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
7	6/26	中部農林高等学校	ワーク&ライフ・バランスとは何か	島袋 隆志	（法）
8	6/26	中部農林高等学校	目標を達成するにはコツがある！	石原 端子	（福）
9	7/5	宮古島市立伊良部中学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
10	7/5	宮古島市立上野中学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
11	7/16	沖縄市立越來小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
12	7/16	沖縄市立越來小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
13	7/16	沖縄市立越來小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
14	10/4	首里東高等学校	2045年の私たちの働き方とAI（人工知能）	春田 吉備彦	（法）
15	10/23	コザ高等学校	沖縄戦とベトナム戦	若林 千代	（法）
16	10/28	嘉手納高等学校	ジェンダーって何だろう？/マンガとジェンダー	宮城 公子	（国）
17	11/5	嘉手納高等学校	ジェンダーって何だろう？/マンガとジェンダー	宮城 公子	（国）
18	10/30	那覇商業高等学校	働くということ	春田 吉備彦	（法）
19	10/30	那覇商業高等学校	どのようにして中国語で仕事ができるか	王 志英	（国）
20	11/1	宮古島市立砂川中学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）
21	11/19	石川高等学校	働くということ	春田 吉備彦	（法）
22	11/21	うるま市立宮森小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	（栄）

23	11/24	宜野湾高等学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛	(栄)
24	12/5	宜野座高等学校	脳の不思議	西 泉	(国)
25	12/8	南風原町立南星中学校	ライフデザイン:しっかりまなぶ・はたらく・ くらししていくために	小野 啓子	(法)
26	12/9	陽明高等学校	ベトナムのストリートチルドレン	吉井 美知子	(国)
27	12/11	沖縄水産高等学校	目標を達成するにはコツがある！	石原 端子	(福)
28	12/18	豊見城市立座安小学校	望ましい生活習慣～タバコの害について～	山代 寛	(栄)
29	12/18	宮古高等学校	人生 100 歳時代の地域づくりと活動	上地 武昭	(福)
30	12/18	宮古高等学校	ベトナムのストリートチルドレン	吉井 美知子	(国)
31	12/18	宮古高等学校	現代英米文化事情 (国際コミュニケーション 入門)	伊藤 丈志	(国)
32	12/18	嘉手納高等学校	ストレスとの上手につき合い方	名城 健二	(福)
33	1/10	嘉手納高等学校	語学力を活かした職業	伊藤 丈志	(国)
34	1/22	那覇工業高等学校	キャリアについて	島袋 隆志	(法)
35	2/4	浦添工業高等学校	SST を体験しよう	名城 健二	(福)

※担当教員名の () は、所属学科の略。

(法) 法経学科、(国) 国際コミュニケーション学科、(福) 福祉文化学科、(こ) こども文化学科
(栄) 管理栄養学科

※同日に同講座がある場合は、実施時間及び対象者が異なります。

(3) 沖縄子ども調査事業 (高校生調査) の実施 (受託事業)

NPO法人沖縄県学童・保育支援センターと本学で事業共同の協定を結び、沖縄県より「沖縄子ども調査事業 (高校生調査)」を受託しました。同事業は沖縄県の子どもの貧困対策を効果的に実施する上で必要となる、高校2年生の生徒及びその保護者の生活実態や支援ニーズ等を把握する事を目的とし、県立高等学校に在籍する高校2年生の生徒及び、その保護者等 7250 人を対象に調査を実施しました。

(4) 「子どもの貧困ソーシャルワーク研修」の実施 (受託事業)

「那覇市と学校法人沖縄大学との包括連携協力に関する協定書」に基づき、2016 年度より沖縄大学と那覇市が協力して、子どもの貧困対策に取り組む支援員を育成することを目的に開始した受託事業です。2017 年度からはさらに豊見城市も参加し、現在まで続いています。活力のある個性豊かな地域社会の形成と発展のために、支援員として必要な知識及び技能を習得すべく毎回平均して那覇市から 10 名、豊見城市から 5 名が研修を受けました。

(5) 教員免許状更新講習の実施

沖縄大学では、社会人教育の一環として、教員免許状更新講習を実施しています。文部科学省の認可を受けて、教員免許更新講習の必修領域 (6 時間受講必須)・選択必修領域 (6 時間受講必須)・選択領域 (18 時間以上受講必須) を開設。講習を通して、教員に求められる最新の知識・

技能の習得と今日的な教育課題についての理解をより深めていただくことを目指しています。

領域	開催日	講座名	担当講師	受講者数
必修	8/4	教育の最新事情（6 時間）	池間 生子 黒木 義成 吉川 麻衣子	86 人
選択必修	8/6	教育の情報化と ICT の授業での活用（6 時間）	金城 秀樹	17 人
	8/6	チームワークとモチベーションを考える ーキャリア教育を念頭にー（6 時間）	島袋隆志	24 人
	8/6	学校教員が知っておきたい組織の不祥事・不正に 対する法的考え方（6 時間）	春田吉備彦	12 人
	8/8	学校の変化と学習指導要領の改訂（6 時間）	黒木義成	13 人
選択	8/16	どこまで英語の授業をオール English で実践する べきか〜アクティブラーニング型の授業実践（指 導）を通して考える〜（6 時間）	天久大輔	3 人
	8/16	多様なニーズを持った子どもの理解と家庭環境 の不安定さが子どもの将来のメンタルヘルスに 与える影響を考える〜スクールソーシャルワー クと精神保健の立場から（6 時間）	名城健二	51 人
	8/15	小学校外国語教育（6 時間）	上原 周子	21 人
	8/15	子どものキャリア形成と教育（6 時間）	宮島 基	22 人
	8/22	小中学校の国語の授業づくりのために（物語文 「お手紙」「故郷」を例に）（6 時間）	喜屋武 政勝	17 人
	8/22	いのちの輪を育てる保健教育・指導（6 時間）	山代 寛	38 人

（6）講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

学 科	教員数	短期派遣	中・長期派遣	合計
法経学科	27 名	4 件	62 件	66 件
国際コミュニケーション学科	12 名	4 件	4 件	8 件
福祉文化学科	16 名	27 件	43 件	70 件
こども文化学科	9 名	9 件	8 件	17 件
管理栄養学科	10 名	18 件	17 件	35 件
その他（事務局参与等）	4 名	9 件	8 件	17 件
合 計	78 名	71 件	142 件	213 件

（７）子供の貧困支援事業

2016 年度に文部科学省より三年間の期間として選定された「私立大学研究ブランディング事業」を終えたあとも、引き続き子どもの貧困に関する研究支援と実践支援を行いました。2019 年度の研究支援は個人で 1 件、班で 4 件それぞれ専門分野からの子どもの貧困にアプローチするテーマでの研究を行いました。実践支援としては週に 2 回「放課後こくば教室」を開催し、これと並行して「ジュニアジャズオーケストラ那覇イースト」も引き続き行いました。また不要な図書を募った「子ども文庫」や、労福協との連携事業による「ティード・わらび〜教室」等も開催し、子どもの貧困問題への関りを深めていきました。

2019 年度 子どもの貧困支援事業研究支援

【個人研究】

	テーマ
1	学力向上を目指す学校と地域の連携に関する一考察 ー竹富町内の離島の小中学校の場合を中心にー

【共同研究】

	テーマ
1	与那国島を中心とした、子どもの貧困、とりわけ、社会保障制度・医療供給体制・(精神保健)福祉とのかかわりあいに関する総合的研究
2	沖縄における「子どもの貧困」「若者の貧困」「大人の貧困」「下流老人問題」の政策的検討
3	沖縄県における子どもの貧困と食生活の実態 ～食格差および健康格差を是正しうる学校給食の可能性を探る～
4	沖縄県の基礎自治体における子どもの貧困対策の生成と展開に関する研究

【2019 年度 子どもの貧困支援事業実践支援】

	開催日	事業名
1	通年	●放課後こくば教室 毎週水曜と金曜の放課後、近隣の小学生たちを募り、本学教職員、民生委員・児童委員や地元自治会の方々、スクールカウンセラー等が協力して子どもと関わりながら事業を運営している。
2	通年	●ジュニアジャズオーケストラ那覇イースト 上記放課後こくば教室と並行して週二回、水曜と金曜に琉球フィルハーモニックの協力を得ながら、子どもたちに楽器の指導を行っている

3	通年	●こども文庫 in 沖縄大学アネックス共創館 本に接する機会の少ないこども達が沖縄の児童文学作品に接する機会と環境を沖縄大学アネックス共創館に整えるため、マスコミや団体等の協力を得ながら寄贈を募り集まった図書を配架し、子どもたちに提供している。
4	8月6日～ 8月9日	●ティード・わらび～教室 沖縄県労働者福祉基金協会の主催する「ティード・わらび～教室」を協力事業として実施した。ひとり親世帯、生活困窮世帯の児童の学習支援や調理実習等のサポートを行った。

(8) 「ちむぐくるデイサービスお～きなわ」の実施

2013年度から本学内で実施しているデイサービス事業「ちむぐくるデイサービスお～きなわ」は、2019年度から地域研究所の事業として位置づけている。ここでは地域の高齢者が毎週50名ほど訪れて、健康体操やレクリエーションを楽しんでいる。さらに学生のゼミ活動の場としても活用されており、毎月4回のうち3回は那覇市社会福祉協議会が健康チェックなどで関与するが、1回は学生たちの自主企画で運営されている。

(9) 那覇市議会報告会の開催

2019年度は5月23日(木)と11月6日(水)の2回、本学を会場に第12回、第13回の那覇市議会報告会および市民との意見交換会を開催しました。市民の声を市政に反映させるため、議員のかたがたが直接、市内各地(4会場)に出向き開催している同報告会について、本学を会場にするのは2017年度から3年目となり、学生や教職員、近隣市民に議会や市政に対する関心を喚起していく趣旨に沿い、今後とも那覇市議会議員と意見交換ができる場を提供できるよう努めてまいります。

(10) 期日前投票

2019年7月12日(金)第25回参議院議員通常選挙の期日前投票会場を学内に設置(本館多目的教室)し、10時から18時に実施しました。学生、教職員や近隣住民のかたがたの投票を促すだけでなく、学生が選挙スタッフとして関わることで主権者教育の一環となっています。